

OMC事務局 〒565 豊中市上新田 4-16-1-33 合原 一夫 TEL06-833-9227
 広報編集局 〒573 枚方市三栗 1-18-20 前田 茂夫 TEL0720-50-5781

平成9年2月(1997年) No. 374

ビデオ雑誌にOMCの紹介記事出る 早速新入会希望者が例会出席

このところ久しくOMCのニュースが映像雑誌に載ることもなかったが、OMCの会員数の確保、新人の加入等の課題を少しでも解決すべく、玄光社のビデオサロン、学研社のビデオキャパにOMCの紹介記事を書かせてもらうべく原稿と写真を送り依頼したところ、両誌とも2月号に写真入りで掲載して頂いた。今までは両誌とも関東地区のニュースが多かったが、関西のニュースや話題が載ったことは少なかった。ということは、両社とも東京に本社を置く雑誌社であり、東京近郊のニュースは入手しやすいが、地方のニュースは地方の方から積極的に提供しない限り、判からないという事情もあるに違いない。

関西でもビデオサロン誌やビデオキャパ誌が売れているということは、ビデオファンが結構居るということではあるが、どうも自分達だけでまとも楽しんで、という感じで外へ向けてのアプローチが少なかったのではないかと、いう気がする。これから各クラブとも、会員の高齢化、減少化を来して新人の入会が少なく課題を抱えていると思う。この際、関西のアマチュア映像界も大いに頑張っ楽しんでという活性化宣言をして、新人の参入者を増やしたり、他地区との交流を図っていくべきではないかと考える。また一方では大阪市中央図書館との共催による映像フェスティバルの企画もあり、このための布石として、(仮称)大阪アマチュア映像連盟の発足もただ今準備中で、この2月26日にその準備会が富士フィルム大阪支社会議室で予定されている。かつて8ミリフィルム最盛期の映像に対する熱気を、今度はビデオという映像を通じて再現し、益々盛んにしていきたいものである。

(会長 合原 一夫)

例会場においたOMC入会案内ビラにも反応

前田広報担当世話役に作って頂いた、入会案内チラシを例会場の入口にある情報コーナーに置いたところ、早速2～3名の方からお電話を頂いた。ビデオカメラを買って子供を撮ったり、旅行の記録などを撮っておられる方は相当おられるが、大半は撮りっぱなし。これを編集して人に見せられるビデオに出来たら、という潜在ニーズをどう掘り起こすかが課題である。

今年のOMC・関西シネクラブ 合同映写会は10月

今年は大阪市中央図書館との共催による映像フェスティバルを11月に予定しておりますが、ここにOMCとして出品出来る枠は恐らく2本前後と思われる。そこで、大勢の会員さんに発表の機会を提供し、併せて単独クラブとしての発表会の灯を消さないためにも小規模ながら、例会場の阿倍野市民学習センターホール（150名収容）にて、発表会を行います。時期は10月を予定しております。未発表作品に限りますので、発表候補予定作品は他のクラブでの発表を控えていただくようお願いしておきます。ビデオ作品に限りますが、フィルム作品の場合はS-VHSへのテレシネにして頂くならば受付いたします。

2月例会のお知らせ

2月の例会は22日（第4土曜日）午後6時より、阿倍野市民学習センター（阿倍野ベルタ3F）にて。寒い季節ですが、月1回の楽しい集いにどうぞ来てください。他人の作品を見ると非常に勉強になると言われますが、それを生かして自分で作品を作らないと上達しません。どんどん例会で見せて下さい。

1月例会のレポート

☆1月例会の出席者：有村、井田、今井、岩井、江村、岡本、奥、勝、合原、越本、関、花岡、前田、前田、森、の15氏

☆なお、今月から勝 成忠さんが新入会されました。奥 宏さん、前田 明彦さんも見学に来られ、早速入会して頂くことになりました。拍手！！
司会、合原さん、書記、有村さん、デッキ操作、岡本さんのお世話で例会を始めました。

◆上映作品

作品は8本を上映しました。

- 1) 上高地を訪ねて 前田 茂夫さん 9分53秒
 何回か現地を訪ねて撮影されたものを編集しています。根雪の残る林、残雪の穂高連峰、それを写生する真っ赤な服装の人物、これらが一番印象に残るカットでしょう。従ってそれが後半の山場に来るよう再編集されたら、もっと良くなるように思いました。パソコンを使ってのBGMの演奏は何時ものことながら敬服致します。
- 2) 故郷への年賀状 合原 一夫さん 3分50秒
 「皆さんお元気ですか、おかげでこちらも皆元気にしています。」と言ってこちらの近況を画面で見せるのが、年賀状を含む手紙の基本のように思えます。ここでは相手先の皆さんが出てきて活躍している画面が出るので何も知らない観客は混乱すると思うのです。特に短篇ですから、ルールに添った作り方の方が無難なように思いました。
- 3) 雪 関 剛 さん 3分20秒
 作者いわく、雪は本来、白か青のイメージなのに、タイトルの雪も赤なら所々でカラーコレクターを使って画面を赤から平常へと転換して抽象的な作風を出したかったとのことです。音節での画面転換で、テンポにのって楽しく拝見しましたが、そのテーマが雪の何なのか、遂に聞き漏らしました。
- 4) Xmasの頃 有村 博 さん 2分45秒
 大阪の南北繁華街でのクリスマスの頃の情景を、三面平行ミラージュレンズとクロススクリーンフィルターを使ってムードよろしく描いたつもりです。「クリスマスと関係ないカットがあるやんか」「フィルターの使用過ぎや」という声が聞かれました。
- 5) 木枯し過ぎて 有村 博 さん 5分23秒
 この正月3日に生駒の山に一人で登って、オール手持ちで撮影したものを編集しました。あまりにも手軽に作ったので、見ている人々も拍子抜けしたからでしょうか、あまり批評も出なかったみたいでした。持ってる機械は使わな、損、損でっせ。
- 6) ルミナリエ 今井 羨美さん 6分
 先ずタイトルバックには感心しました。市役所がこのイベントの間、開放されて24階から夜景が撮影出来るそうですが、それにしてもズームのタイミングといいよく出来ていました。それに比べて本体のルミナリエは余程、撮影しにくいのか今一つ迫力が感じられなかったのが残念でした。
- 7) 真夏の昼の夢 森 保信さん 8分
 フジビデオサークルの昨年夏の撮影会でのドラマ作品です。他クラブの企画、構成のもので、批評は差し控えます。
- 8) 梅小路 岩井 二郎さん 5分
 京都の蒸気機関車動態保存館での記録です。作者は長い、長い経歴の会員さんですから、せめてタイトル位は前後に付けて見せてほしかったです。

以上で上映をおわり、喫茶店と居酒屋組に別れて2次会を楽しみました。

(講評担当・有村)

From 大阪

フィルム時代からの伝統ある『大阪ムービーサークル』で いっしょにビデオを楽しみませんか?

影、編集などされてビデオに関心をお持ちの方、伝統ある当サークルに入っしょにビデオを楽しみませんか? なお、会費は下記よりです。

●連絡先 大阪府豊中市
16-1-33 合原一夫
☎06・831・9227

大阪地区ビデオクラブ事情

OMC 合原一夫

クラブの伝統は公開映写会

大阪では、今や公開映写会をやるクラブはほとんど無くなったのですが、わがOMCは大阪ムービーサークルは関西シネクラブと合同で毎年大々的に公開映写会を開いています。これは作品制作上の二つの目標となり、会員同士のはげみにもなっています。わがOMCは昨年(平成8年)、当会と関西シネクラブの両方の会長を兼ねた小倉宝蔵さんがなくなりまして、そして氏の追悼映写会をきっかけに、川上勝晴・東京アマチュア映像連盟会長のお骨折りで、東京アマチュア映像会が特別上映されました。その後名古屋でも上映され、故人もさぞ喜んでいることと思います。

姉妹クラブと楽しい交流会

毎月第4土曜日の午後6時より、大阪市立阿倍野市民学習センター(地下鉄阿倍野駅すぐ近く)にて月例会を開いています。撮影会は一泊撮影会や課題コンテストを開き、

親睦と作品づくりを楽しんでいます。元関西エルモクラブの流れをくむ関西シネクラブとは姉妹クラブで、新年会と発表映写会を合同で開催しています。発表会を開催して大勢の方に観てもらおう、それをはげみにして作品づくりに意欲を湧かすクラブは、わがOMCぐらいしか大阪にはありません。どんな未熟な方これからビデオを始めたい方を開きませんか。関心のある関西在住の方のご入会を歓迎いたします。

(連絡先) 〒565 豊中市上新田4-16-1-1-33 OMC事務局

合原(こう)はら一夫

大阪ムービーサークル(OMC)は、フィルム時代からの伝統あるクラブです。大阪地区もフィルム時代は活気があったのですが、ビデオ化の波にさらされ、クラブの数も発表会も減ってしまいました。しかし、そんななかであって、わがクラブは毎年欠かさず公開映写会を開催するなど、活動を続けています。

また、毎年、公開映写会のほか、一泊撮影会も楽しんでいます。昨年は長良川を取り上げ、上流の鶴岡、から下流の長良川堰まで、スケールの大きな撮影会で、みな、作品にまとめるのに苦労しました。来年はどこにするか、いまから頭の痛問題ですが、楽しい一泊撮影会を会員同士の親睦にたいへん貢献しているようです。



また、新しく入会される新人の方や、腕をさらに磨きたい人のために、毎月第一日曜の午後、会長宅を開放しています。これからビデオを楽しむ方、すてに撮

大阪も、かつては関西小型映画連盟を組織し、毎年合同発表会を開催した時期もありましたが、今は昔、ビデオ化の波に押されてあればどなくさんの8ミリクラブがあつたのに、今や数えるほどしかありません。メーカー系のビデオクラブは発足当初は会社の後押しもあつて会員数も多く、賑やかに例会や撮影会をやつていたのですが、会社が手を引いた後は自主クラブとして再出発。会員も半減したとは言え、ますます落ちついた活動をしているようです。かつての8ミリクラブは消滅したところや視聴を主として楽しむ小クラブでやつているところが大半です。しかし、どこも高齢化が進み、若い人がほとんど入つて来ない悩みを抱えています。

会員は多士活々で論客も多い

OMCもビデオ化へ脱皮し、今やフィルム派は皆無となりましたが、ビデオはまだ新しいメディアだけにハード・ソフトとも話題が多く、例会だけでは話が盡きず、二次会へまで話が引継がれるのが毎度です。こうした盡きぬおしゃべりがまた楽しいわけですが、作品の方は、どうも手軽に作れるので、作品が軽くなったという評価も受けており、一つの反省点となっています。もともとOMCは多士活々論客も多いので、作品の良し悪しにはかなりうるさい方、それがまたレベラアップに連

上：ビデオキャパ：H9/2月号掲載記事

下：ビデオサロン：H9/2月号掲載記事



姉妹クラブの関西シネクラブと合同新年会(上)、救命胴衣に身をつつんで撮影する長良川撮影会の会員たち。